

米国の災害対策トレーニングを学ぶ研修会

The USA system of Disaster Management Training



開催日：2019年5月17日と18日

場所：東京大学生産技術研究所S棟プレゼンテーションルーム

Background

我が国では、災害対応の“型（かた）”がないために、行政と民間企業とも災害対応に関する基本概念、用語、システム、機材、情報システムなど、多くがバラバラであり、チグハグで非効率な災害対応や危機対応となることが多いです。

米国では、FEMA（米国危機管理庁）を中心として、ハザード別に7つの大学等によりコンソーシアム（NDPC, National Domestic Preparedness Consortium）が形成され、定期的にトレーニングプログラムをアップデートする仕組みが機能しています。結果的にICS（Incident Command System）等もトレーニングを通じて普及し、実際の災害対応でも共通概念の基で、各災害対応従事者が連携した対応が実現できる環境が整備されています。

本ワークショップでは、DMTCの本格始動に向けて、米国の災害対策の“仕組み”を学ぶことで、トレーニングを通じて、どのように災害対応の標準化を進めるのか、どのように実効性のある防災計画やBCPを策定するのかを思考したいと思います。米国から講師として、DMTCと連携関係を締結しているハワイ大学NDPTCのRussell先生にお願いいたしました。

Contents

- Day 1 5/17**
- 9:00 - 9:30 開会・導入 目黒 公郎（東京大学教授）・沼田 宗純（東京大学准教授）
 - 9:30 - 10:30 我が国の災害対策 伊藤 哲朗（東京大学客員教授、元内閣危機管理監）
 - 10:30 - 12:00 Introduction to the institutional framework for disaster management training. Russell Uyeno（ハワイ大学教授）
 - 13:00 - 17:00 Overview of the organizational structure of NDPTC as a FEMA training center/ Details of the training course development process. Russell Uyeno（同）
- Day 2 5/18**
- 9:30 - 10:30 我が国のICSに関する取り組み事例 後藤 真太郎（立正大学教授）
 - 10:30 - 12:00 Details of training course delivery process (1). Russell Uyeno（同）
 - 13:00 - 16:30 Details of training course delivery process (2). Russell Uyeno（同）
 - 16:30 - 17:00 まとめ・閉会
 - 17:00 - 18:30 意見交換会 ※参加希望者は、3,000円

主催・申し込み等

対象者：行政職員、民間企業の防災・危機管理担当者、防災教育に興味のある方

主催：災害対策トレーニングセンター

協力：RC95研究会の会員企業、NDPTC

定員：40名（定員になり次第締め切り）

言語：英語の場合、逐次通訳を入れます。

参加費：2万円（学生・RC95メンバーは無料）

申し込み：DMTCのWEBサイト



NDPTCとは：National Disaster Preparedness Training Center at the University of Hawai'i



This activity is supported by The Foundation for the Promotion of Industrial Science

本活動は、奨励会 RC95研究会の活動の一環で行っています。

お問い合わせ 沼田研究室・DMTC事務局

TEL 03-5452-6445 URL <http://tdmtc.tokyo/>